

## 2025年度 授業コード: 22115700

授業科目	*ソーシャルワーク演習					実務家教員担当科目	○		
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	通山 久仁子/岡田 和敏/梶原 浩介/文屋 典子/中川 美幸								
授業概要	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を理解したうえで、①ソーシャルワーカーとして求められる基礎的な能力、②ソーシャルワークの価値規範と倫理、③ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術について、実践的に学びます。本演習では、実務家教員として、医療ソーシャルワーカー等の相談援助の実務経験のある教員が、個別指導や集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を行います。</p>								
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、プレゼンテーション、ロールプレイ				
<b>学生が達成すべき行動目標</b>									
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>自己覚知について、実践的に理解できる。</li> <li>基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解できる。</li> <li>基本的な面接技術について、実践的に理解できる。</li> <li>ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解できる。</li> <li>ソーシャルワークの記録について、実践的に理解できる。</li> <li>グループダイナミクスの活用について、実践的に理解できる。</li> <li>プレゼンテーション技術について、実践的に理解できる。</li> </ol>								
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>自己覚知について、実践的に理解し、習得できる。</li> <li>基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>基本的な面接技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>ソーシャルワークの記録について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>グループダイナミクスの活用について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>プレゼンテーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> </ol>								
<b>評価方法・評価割合</b>									
評価方法		評価割合 (数値)				備考			
試験									
小テスト									
レポート		30							
発表 (口頭、プレゼンテーション)		20							
レポート外の提出物									
その他		50				演習への参加意欲・態度、リーダーシップ・協力度			
<b>カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング</b>									
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題 (予習・復習)								1回の目安時間 (時間)	

提示された課題の事前学習、各回のふり返し、関連する内容の調べ学習		1
授業計画		
第1回	オリエンテーション（全教員） 本演習のねらい、内容、演習の方法、進め方について説明する。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性について解説する。	
第2回	自己覚知 1（全教員） 自己覚知とその意義について理解し、自己理解の方法について、実践的に学ぶ。	
第3回	自己覚知 2（全教員） 自己理解と他者理解の方法について、実践的に学ぶ。	
第4回	基本的なコミュニケーション技術 1（全教員） 非言語的コミュニケーション（表情、態度、身振り、位置取り等）について、実践的に学ぶ。	
第5回	基本的なコミュニケーション技術 2（全教員） 言語的コミュニケーション（質問、促し等）について、実践的に学ぶ。	
第6回	基本的な面接技術 1（全教員） 面接の構造化、場の設定（面接室、生活場面、自宅等）、ツールの活用（電話、e-mail等）について、実践的に学ぶ。	
第7回	基本的な面接技術 2（全教員） 基本的な応答技法（言い換え、感情の反射等）について、実践的に学ぶ。	
第8回	基本的な面接技術 3（全教員） 基本的な応答技法（繰り返し、要約等）について、実践的に学ぶ。	
第9回	グループダイナミクスの活用（全教員） グループワークの構成（グループリーダー・コリーダー・グループメンバー）、グループワークの展開過程（準備期・開始期・作業期・終結期）について、実践的に学ぶ。	
第10回	ソーシャルワークの価値と視点（全教員） ソーシャルワーカーに求められる倫理について、実践的に学ぶ。	
第11回	ソーシャルワークの展開過程 1（全教員） ソーシャルワークの展開過程の全体像とソーシャルワーカーの役割について、実践的に学ぶ。	
第12回	ソーシャルワークの展開過程 2（全教員） ケースの発見、インテークについて、実践的に学ぶ。	
第13回	ソーシャルワークの展開過程 3・ソーシャルワークの記録（全教員） アセスメントについて実践的に学ぶ。記録の意義、様式、方法について理解し、マッピングツールを用いた記録の作成について、実践的に学ぶ。	
第14回	ソーシャルワークの展開過程 4・プレゼンテーション技術（全教員） プランニング、支援の実施、モニタリングについて、実践的に学ぶ。個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーションの方法について、実践的に学ぶ。	
第15回	ソーシャルワークの展開過程 5（全教員） 支援の終結と事後評価、アフターケアについて実践的に学ぶ。	
テキスト	担当教員が演習の中で適宜紹介します。必要に応じて視聴覚教材を用います。	

参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	フィードバックの方法の詳細は、担当教員が授業内で提示します。
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	「福祉入門」や「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ福祉や援助技術に関する基本的な知識、「ヒューマンサービス基礎演習」で学んだコミュニケーション技術を、本演習で活用できるようにしてください。 社会福祉の学びは、理論と実践の両輪が必要です。演習で学んだ内容を、ボランティア活動や「基礎実習」などの実践の場で活用してみてください。そして身につけた知識や技術を、「ソーシャルワーク実習」で活用できるようにしてください。
学生への メッセー ジ・コメ ント	